

日野市まちづくりマスタープラン
改訂に向けた

テーマ別意見交換会

平成29年9月30日

日野市役所5階505会議室

本日の流れ

1 開会

2 はじめに

- ・まちづくりマスタープランとは
- ・意見交換会の目的
- ・まちづくりの現況と課題

3 テーマ別意見交換 ①（約40分）

～休憩～

4 テーマ別意見交換 ②（約20分）

～各グループの結果発表～

5 閉会

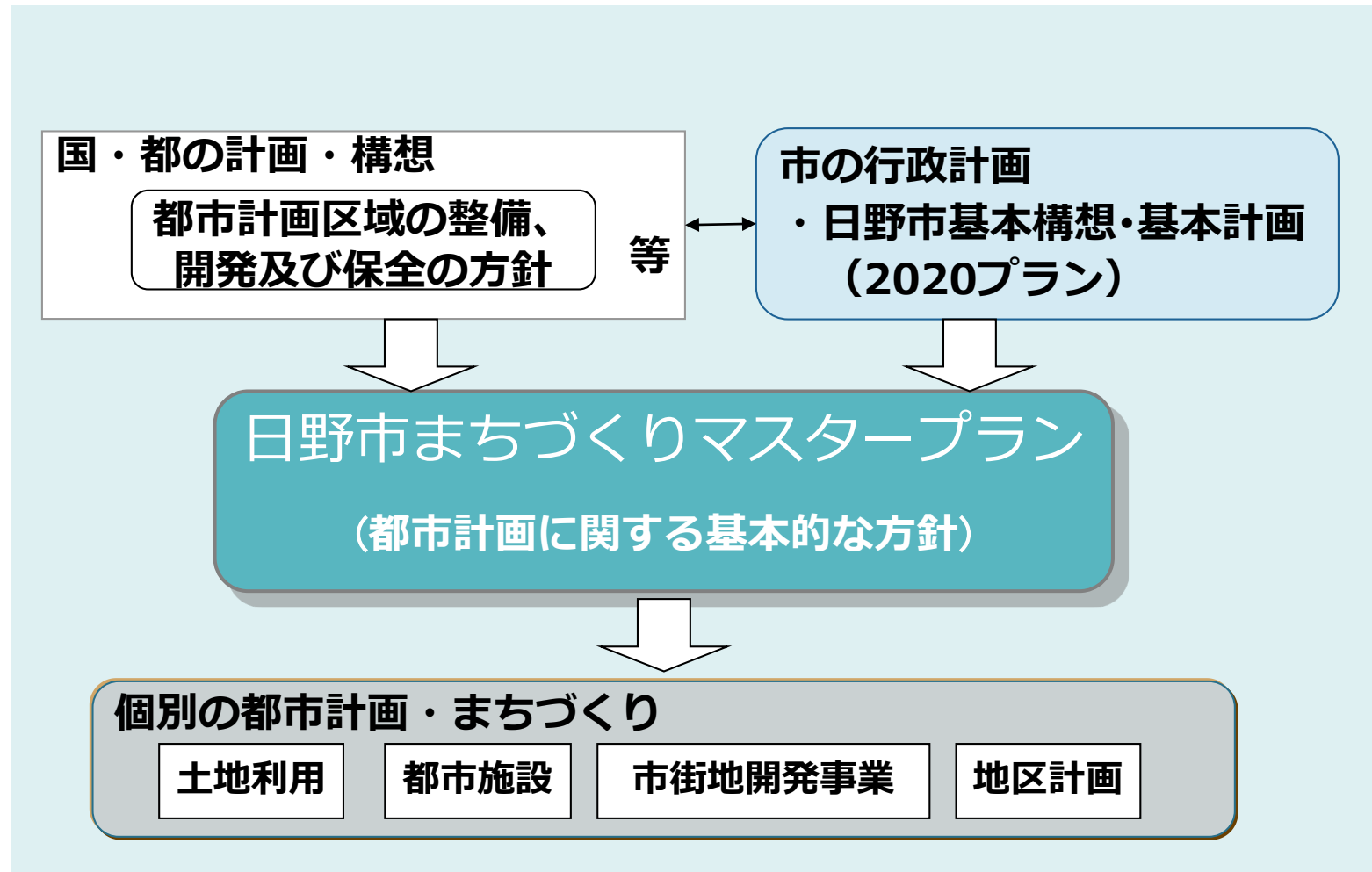
はじめに

- ・まちづくりマスタープランとは
- ・意見交換会の目的
- ・まちづくりの現況と課題

日野市まちづくりマスタープランとは

- 現行の「日野市まちづくりマスタープラン」は平成15年に策定され、都市計画に関する基本的な方針が定められています。
- 策定から10年余りが経過し、社会情勢やまちの姿が変化するとともに、地域における課題も変わってきたため、現行のまちづくりマスタープランを生かした、新たなまちづくりマスタープランを策定します。

まちづくりマスタープランの位置付け



第5次日野市基本構想・基本計画（2020プラン）

後期基本計画（平成28年度～平成32年度）
まちづくりの柱（一部）毎の個別施策と目標

	個別施策	指標名 (中間成果指標)	現状値 (平成27年度)		最終年度 (平成32年度)
5	自然と調和した環境に優しいまち				
	自然度の高いみどりの保全	公有化された緑地面積	14.52ha	➡	17.00ha
6	安全で安心して暮らせるまち				
	災害に強いまちづくり	住宅の耐震化率	80.7% (H25年度)	➡	95.0%
7	地域の魅力を活かした活力あるまち				
	土地区画整理事業の推進	仮換地指定の促進による 事業効果の早期発現	43.7%	➡	54.7%
	交通網の整備促進	ミニバス利用者数	1,476,307人 (H26年)	➡	1,500,000人
		ワゴンタクシー利用者数	28,422人 (H26年度)	➡	29,000人
	都市計画道路等広域的道路 網の整備促進	整備済みの道路延長	92.80%	➡	93.50%

マスタープラン改訂の視点

- 現行のマスタープランを基本とし、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに目指すべき都市像を設定し、その実現に向けた方策を検討していきます。

視点1 現状及び今後のまちづくりの課題への対応

- 持続可能な地域づくり
- 暮らしながら働ける地域づくり
- 歩きたくなるまち、歩いて暮らせるまちづくり
- 地域で生き看取られるまちづくり
- 安全・安心なまちづくり



視点2 日野市の目指す都市像を再定義

『日野市に暮らす価値を高める』

マスタープランの構成

日野のグランドデザイン

まちづくりの基本理念と将来像

都市計画マスタープラン
グランドデザインを実現するための
土地・建物利用のルールや整備方針

全体構想

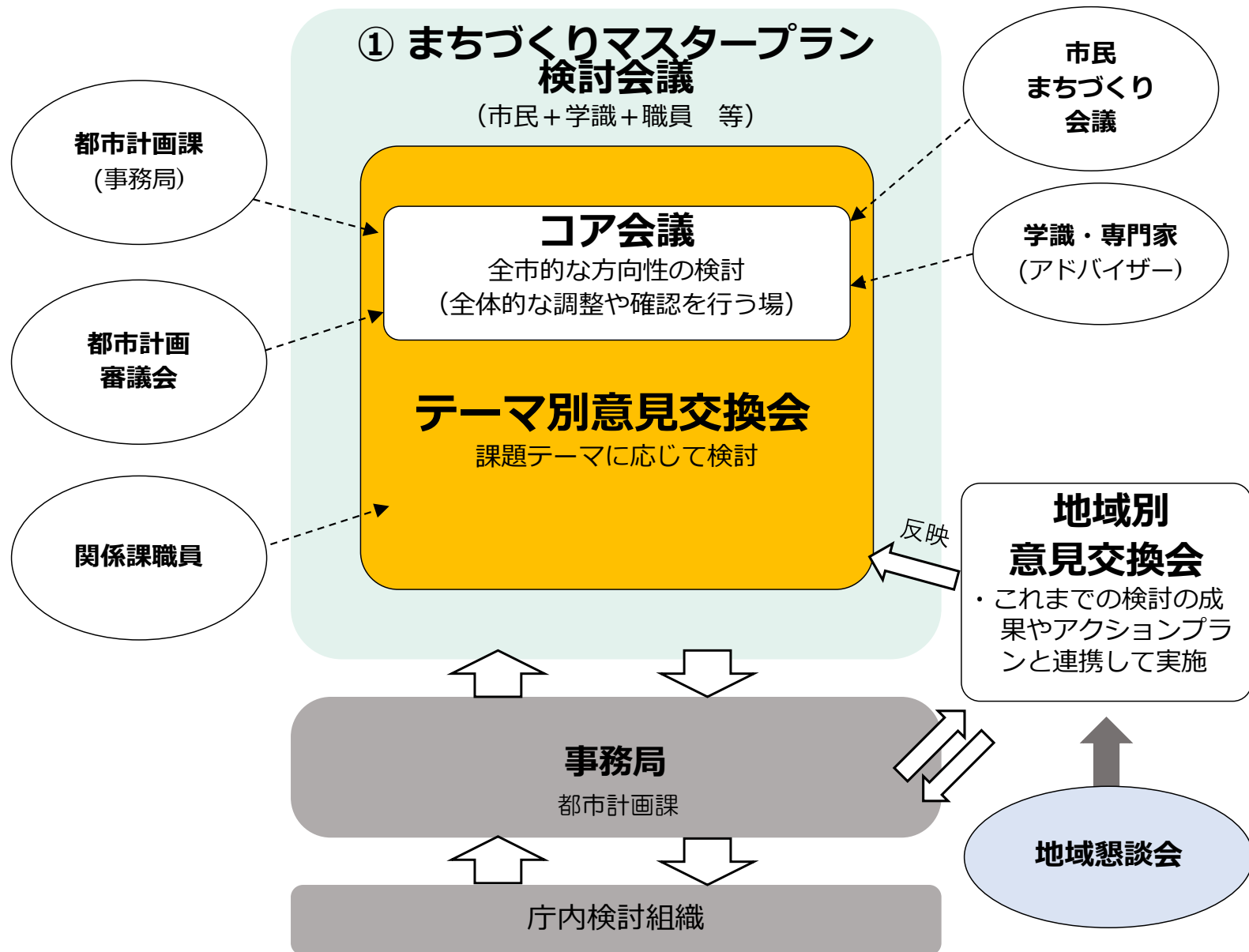
地域別構想

まちづくりの基本方針

1. 日野の記憶と文化を伝えるまち
2. 暮らしの舞台を支えるまち
3. 仕事を育むまち

基本方針に基づく
分野別の方針や重
点事業が記載され
ています

検討体制



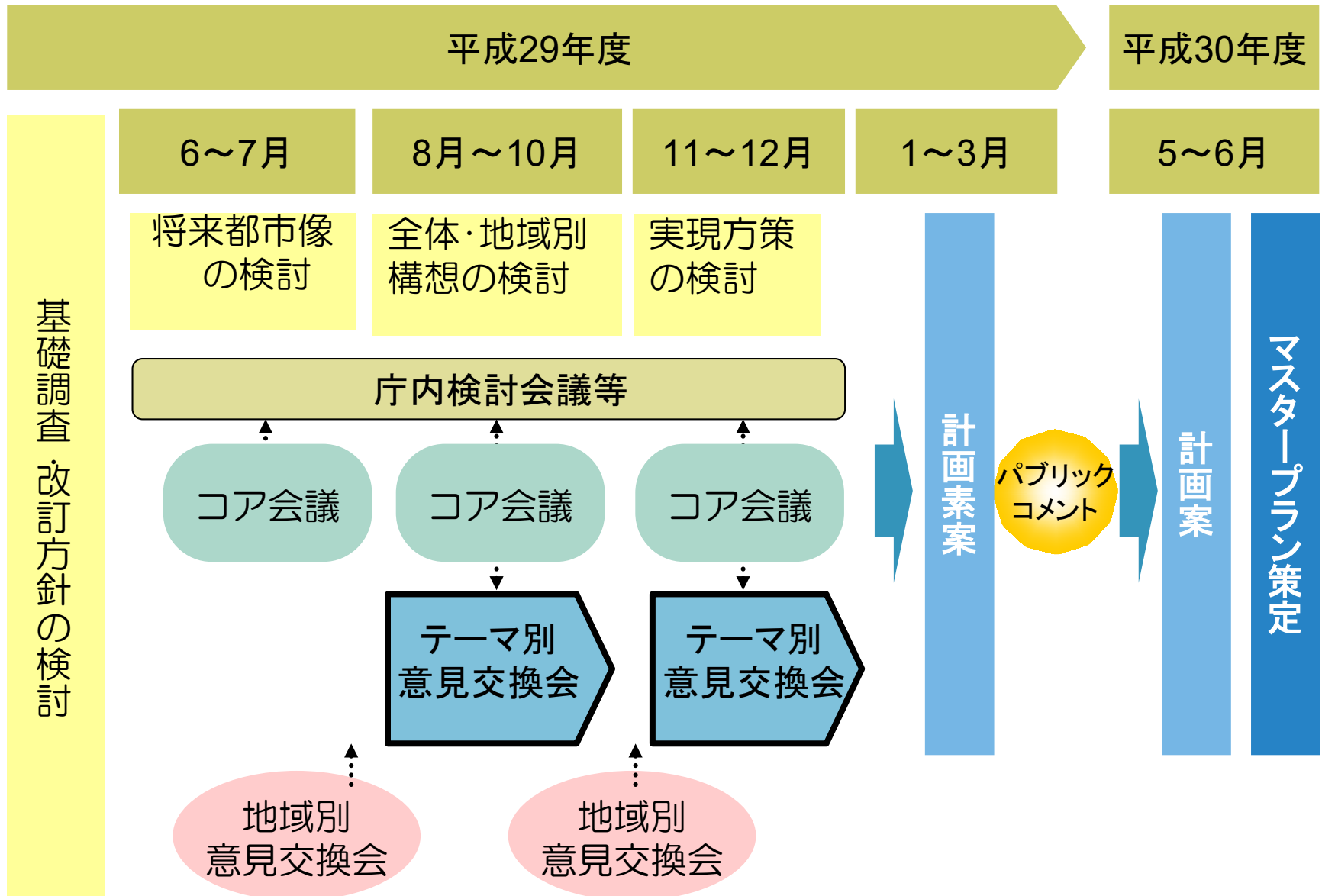
テーマ別意見交換会の目的

- 意見交換会は、新たに目指すべき都市像の設定とまちづくりの基本方針の見直しにあたり、日野市に暮らす市民の皆さんのご意見を反映することを目的としています。
- 意見交換は『**日野市に暮らす価値を高める**』をキーワードとして、5つのテーマに分かれて進めていきます。

	テーマ
1	高齢者目線の暮らし
2	子育て目線の暮らし
3	安心・安全な暮らし
4	水とみどりの豊かな暮らし
5	暮らしを支える交通環境



改訂スケジュール



まちづくりの現況と課題

マスタープランに基づくまちづくりの進捗状況

まちづくり基本計画

これまでの成果（一部）

< 3つの基本方針 >

《 内容 》

基本方針1 日野の記憶と 文化を伝える まち

- 緑地の保全と継承
- 緑と水のネットワーク形成
- 歴史を活かした景観形成
- 健康や交流の場づくり
等

- ●地区計画による緑の保全
- ●まちづくり条例による緑の保全
- ●日野宿通り周辺まちづくりの推進

基本方針2 暮らしの舞台を 支えるまち

- 成熟した住環境の維持・更新
- 住み続けられる環境の創出
- 道路網等の都市基盤整備
- 公共交通の利便性向上
- 地域コミュニティの再編
等

- ●区画整理事業の推進
- ●地域防災計画等の策定
- ●幹線道路の整備推進
- ●ワゴンタクシーの導入
- ●地域懇談会の実施

基本方針3 仕事を育むまち

- 3駅周辺の交流拠点づくり
- 産業育成に向けた基盤整備
- 農のあるまちづくりの推進
- 農の拠点の整備
等

- ●豊田駅周辺の拠点商業の誘致
- ●農・住の共存するまちづくりの推進（川辺堀之内地区等）
- ●ファーマーズセンターの設置

都市基盤 (道路)

日3・4・8全通

日3・4・17
優先整備路線選定

日3・4・22全通

日野バイパス全通

日3・4・25
優先整備路線選定

日3・4・14全通

日3・4・3拡幅
+
残区間整備着手
+
優先整備路線選定

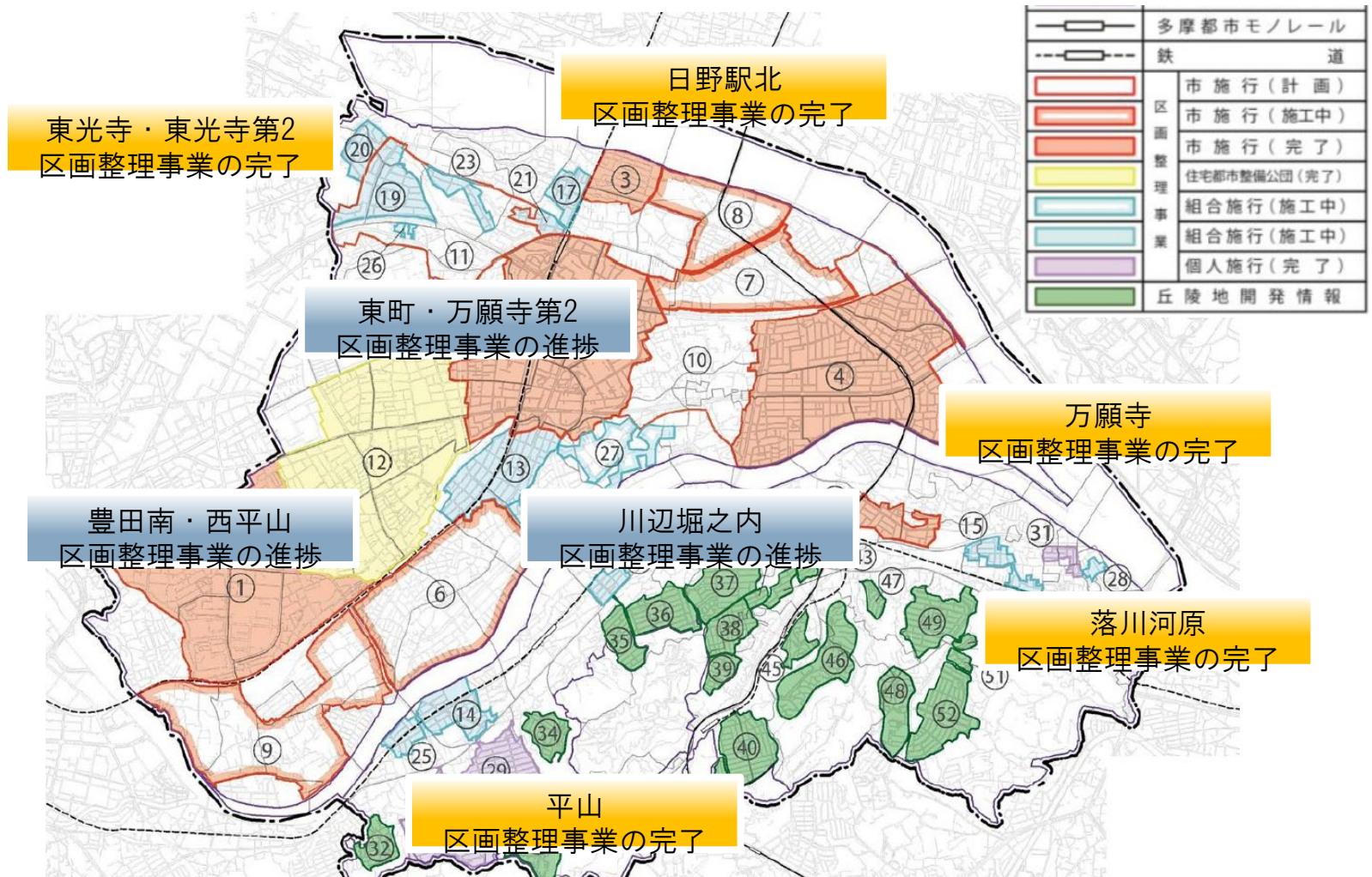
多摩都市モノレール全線開通 (2000)

日3・4・24
残区間整備着手



- ・ 日野バイパスの全線開通など、都市計画道路等の道路整備が進行

都市基盤（市街地整備）



- 区画整理事業による市街地整備が進行

公共交通

日野台路線の一般路線化

重複路線再編・ラウンドダイヤ

運行時間帯の拡大



市内連絡バス

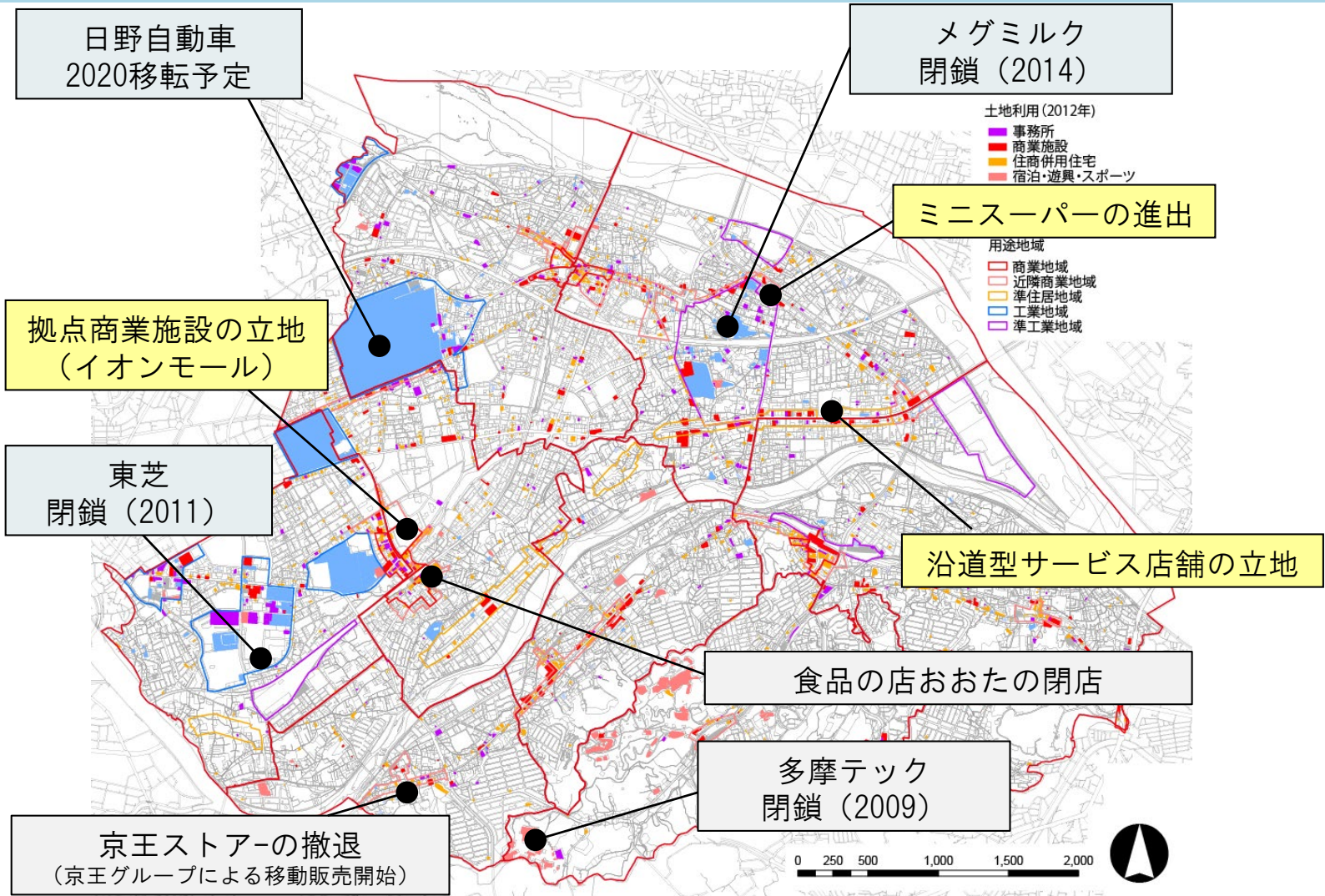
- 市内路線
- 南平路線
- 三沢台路線
- 旭が丘循環路線
- 落川路線
- 平山循環路線
- 川辺堀之内路線

ワゴンタクシー

- 明星ルート
- 平山ルート

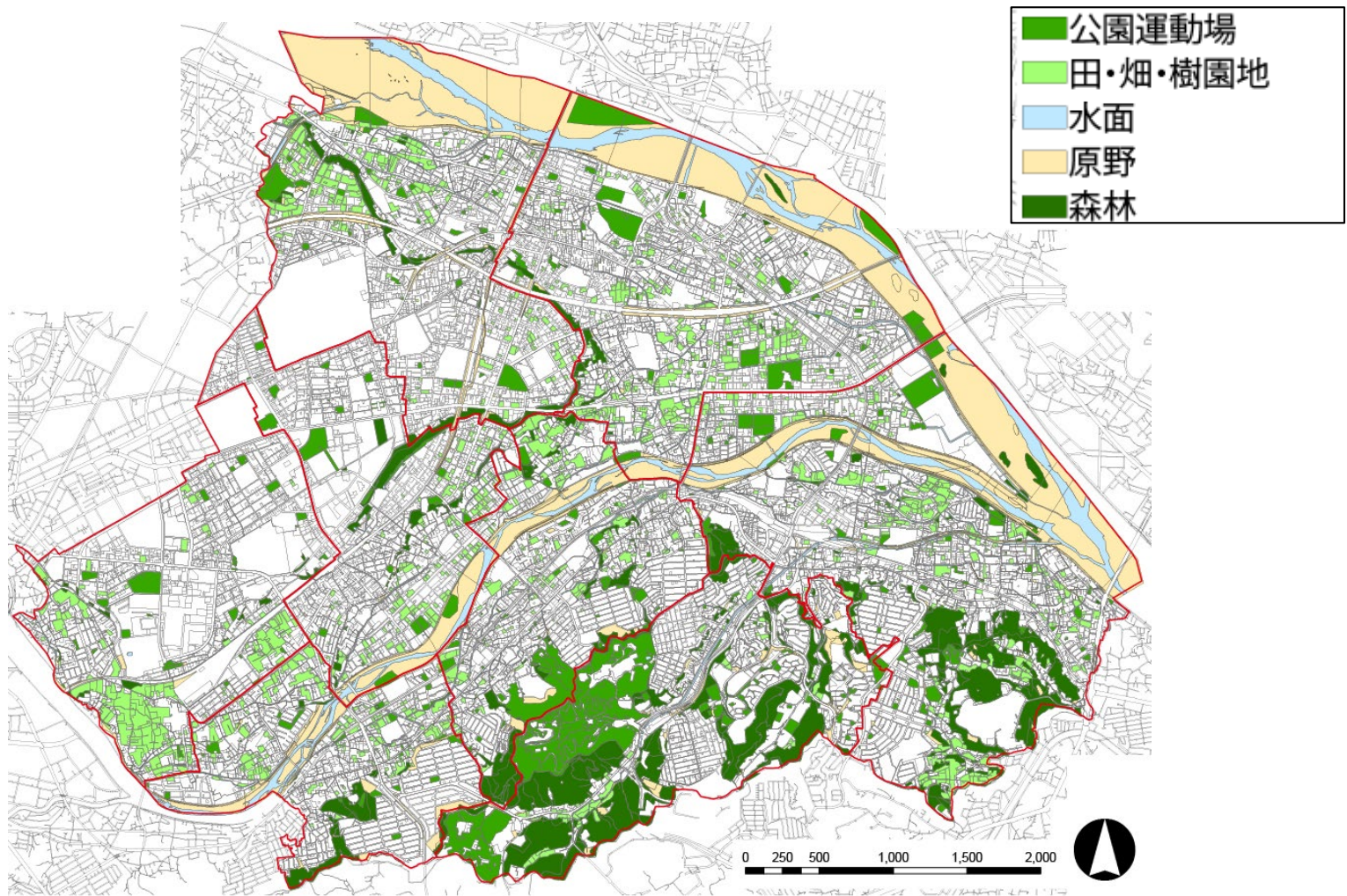
- ・ ミニバスの再編や運行時間帯等の拡充、ワゴンタクシーの導入

産業



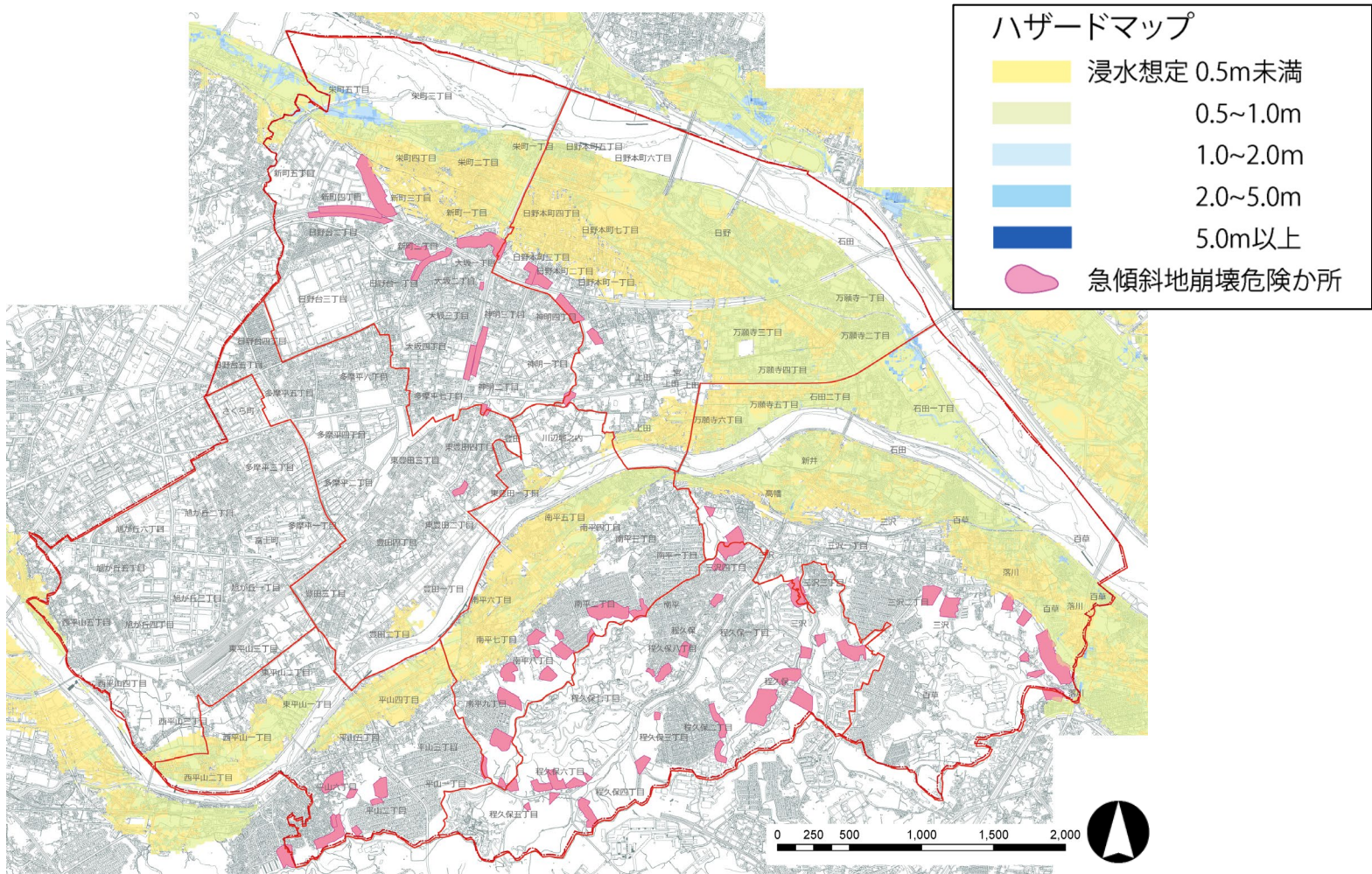
- ・ イオンモール等を誘致する一方で、京王ストア等が撤退
- ・ 基幹産業である日野自動車工場の移転、東芝・メグミルク等の工場撤退

自然環境 (公園・水と緑)



- 農地や樹林は減少傾向

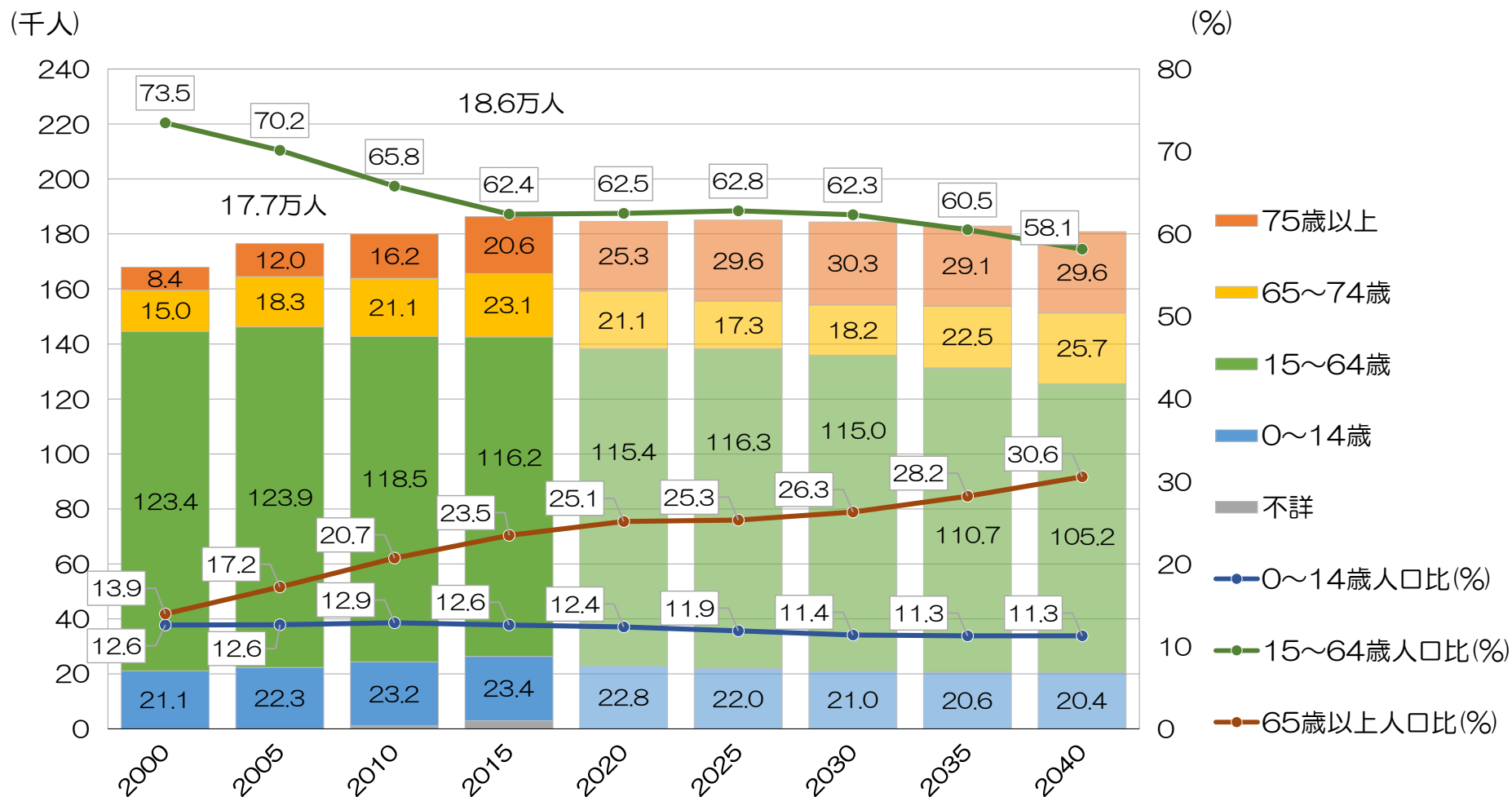
自然環境（災害危険性）



- 急傾斜地崩壊危険箇所、浸水想定区域が存在

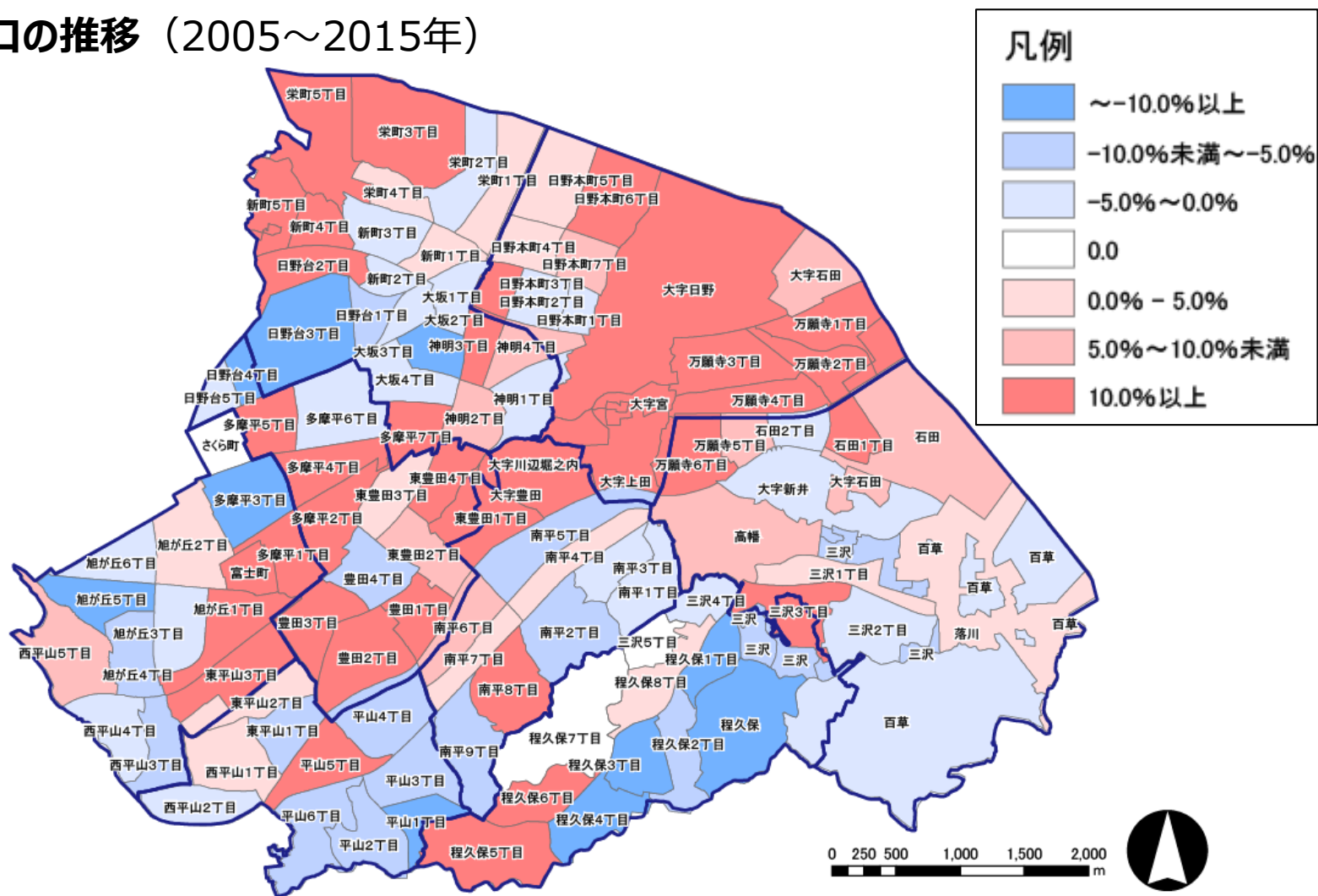
人口の推移と将来人口の推計

人口の推移（2005～2015年）と人口推計（2020～2040年）



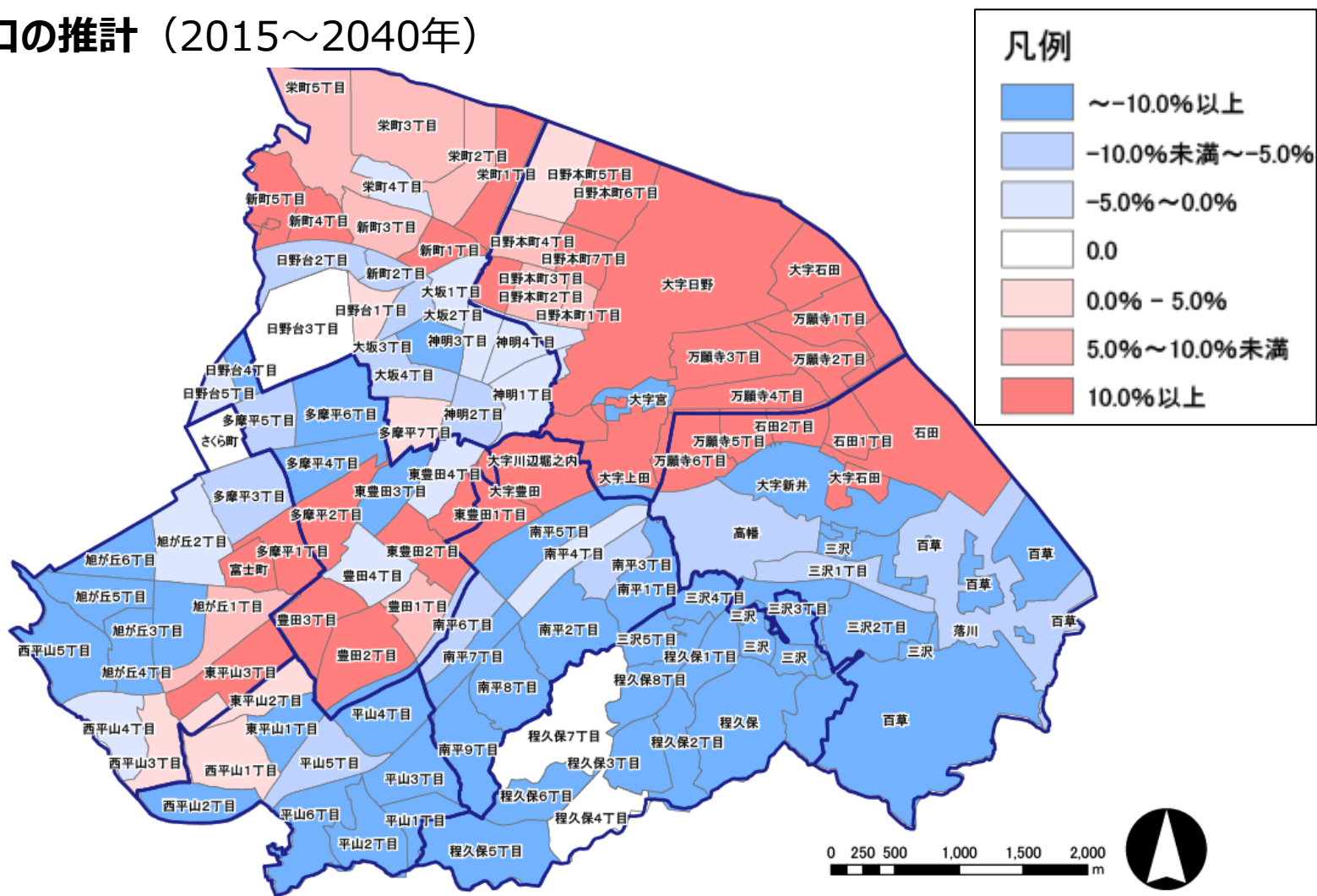
- 人口は17.7万人（2005年）から18.6万人（2015年）へ増加
- 高齢人口は6.3%増、生産人口は7.8%減
- 2040年には18.1万人と推計される

町丁別人口の推移（2005～2015年）



- ・地区別では、特に丘陵部を含む南部で減少傾向がみられる

町丁別人口の推計（2015～2040年）



- ・2040年までに市北部で平均14%の増加、市南部で15%の減少と推計される

テーマ別意見交換①

暮らしの問題点を考える



『日野市は、暮らしやすいまちですか？』

『日野市に暮らす価値を高めるために
なにが必要でしょうか？』

テーマ別意見交換②

これからの暮らしを考える



『活力のある “いきいきとしたまち” とは
どんなまちでしょうか？』

（お問合せ）

日野市 まちづくり部 都市計画課

電話（042）514-8354